ゆみこの 議員活動 報告書 **●**

2019.11.5 16

もくじ

- ・町立病院の来年とその先
- ・JR 代替バスの最終便と停留所
- ・バスターミナル複合施設と皆楽公園
- ・農業施設の建設
- ・月形町の財政状況





〒061 - 0512 月形町市南1 電話/ FAX 0126 - 53 - 2611 携帯 090 - 7646 - 3837 Eメール yumiko3@mac.com ホームページ https://yumiko3.net/

発行日 2019年11月5日 発行人 宮下裕美子

台風 19 号の被害

甚大な被害をもたらした台風 19号。過去に水害 を経験している月形町民のみなさんは身につまさ れる想いだったでしょう。実は私の実家が被害に 遭いました。

栃木県鹿沼市の実家は10月12日夜に1km上流で川が決壊して床上浸水になり、家も庭も車も出荷を待つ新米も泥水に浸かりました。ちょうど母との電話中に「玄関から水が!」となり、音声が途切れ… 私も現場にいるような生々しさを経験しました。判断が遅れたのは、これまで一度も洪水がなかった地区だから。風に対する備えを万全にしたところで安心しきって目の前の変化に気付けなかったのです。だから①思い込みを捨てる②行動する ③声を掛け合うことの大切さが身に染みました。

一方、翌朝には親戚や友人やご近所が来てくれて、家や庭の泥だしや片付け、食事の差し入れや洗濯代行など、様々に支えてくれました。おかげで迅速に復旧・回復しています。どの災害でも言われるように、やっぱり人と人の繋がり・普段のお付き合いが大事なのですね。

さらに、インターネットが大きな力を発揮しまし

た。気象庁や Yahoo! が配信する観測データ・警戒情報は更新が頻繁で詳細な情報も入手できるので、私も夫も台風 19 号の状況を観察していました。栃木県の尋常でない降水量と川の水位が目にとまり、危険を感じて母に電話、避難を促すことができたのです。また、被災後には SNS が大いに役立ちました。廃棄(堆肥化)するしかない浸水米をどうにか活かしたいと情報を募った結果、「お米のプラスチック」の原料に活用できました。時代が生んだ様々な道具を使いこなすことで力になります。

台風で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方が一日も早く日常を取り戻すことを願わずにいられません。お見舞い申し上げます。昨年の地震やブラックアウトのように日本全国様々な災害が起きる時代を踏まえ、防災・減災に想像力を働かせて積極的に取り組みたいと思います。



町政懇談会で! まもなく「町政懇談会(まちづくり懇談会)」が開催されます。日程は ご存じですか?IP 電話に出ています。対象地区が分けてありますが、どこに参加しても大丈夫です。 この活動報告書に掲載されている内容の多くは現在進行中で、町政懇談会で町から説明があります。 質問や意見を直接町に届けられるチャンスですので、ぜひご参加ください。

月形町立病院の来年とその先

まずは結論から。町立病院は来年度も今のまま「町立の病院」として存続し、「入院40床」も変わりません。

9月一般質問で町長は「来年4月から"指定管理者によるへき地診療所化"すると言ったのは執行方針段階(今年3月)の判断。その後、院長の交代等があり経営も改善しているので、このまま見守ることにした」と答弁しました。6月一般質問では「本年9月までに公募要領公表と説明会・現地見学会の開催、10月に公募メ切…」と答弁していたので、日程ギリギリのところで「何も変えない」ことにしたと言えます。

町営が民営になれば職員 の身分は公務員→会社員に 変わる他、財政負担も発生 します。方針転換したらす ぐ町民に説明するものだと 私は考えますが、全員協議会で町長は「そもそも 来年やるとは言っていない。月形町にとって最良 の医療の提供に努めるし、これまで同様に将来的 な選択肢として検討を続けていく。町民にはしか るべき時期に説明したい(=すぐには説明しない)」 と発言しました。

私は以前から、準備期間1年で体制変更(町立病院→指定管理者によるへき地診療所)するには無理があると考えていたので、この結果は歓迎しています。ただ、先送りして得た時間で何をするのか? そこが重要です。決断時期と具体的な検討内容(広域医療体制の状況、提供できる医療内容、町民ニーズの把握、体制変更の判断時期・・・)を明確にして取り組まなければ時間を浪費するだけ。そのことに触れなかったことが気になっています。なお、個人的には「地方公営企業法全部適用」も選択肢だと考えています。

JR 代替バスの最終便

廃線前の来年 4月 1日から運行が始まる JR 代替バス。その運行ダイヤと停留所が示されました(町報 11 月号参照)。浦臼方面はこれまでと同じ《上り 5 便・下り 5 便》で運行ダイヤが変更されます。札幌方面は《JR 上り 7 本・下り 8 本》 \rightarrow 《代替バス上り 9 便・下り 9 便》と朝を重点に増便されますが、最終が上下とも 1 時間早くなります。

今、私が気になっているのは2点。

● 札幌からの最終便

代替バス最終便に乗るには《札幌発 19:45》の JR に乗らなければなりません。現行より 1 時間早いのです。経費や運転手の手配等の問題だそうですが、この最終時刻でこれまで JR を使って札幌方面に通っていた(これから通おうとする)人達の足は確保できるのでしょうか?

最終バスは最後の砦、遅くなっても帰れる便があるからこそ「行き」もバスを使うのです。最初から最終バスに乗れないのなら、代替バスを利用せずに時間の融通が利く医療大駅まで車で行くことや、自宅通学を諦めて転居することも考えられます。

この指摘に町は

①まずは運行して様子を見てから。必要なら改善する。

②最終便を1時間遅らせ、現行の札幌発20:45に接続することは可能。その場合は前便との間が2時間になる。

と示しました。さて、どうでしょう?

● 北農場 1 のバス停留所

現段階での浦臼行きのバス停留所は、市街地を 回った後→病院→温泉→刑務所前(官舎出入口)→ コンクリート工場前→新富(旧札比内小中学校前) …となっています。

北農場 1 地区は市街地から少し距離がありますが、運行中のスクールバスも検討中の町内デマンド交通も対象地区になっておらず、JR 代替バスもこの停留所の配置では利用できそうにありません。この点について町は

①国道を利用する JR 代替バスの停留所は安全確保のためバスベイ(待避所)が必要。新設するには約1,000万円かかる。まずは運行して様子を見てから。

②デマンド交通で対応できる可能性がある。 とのことでした。さて、どうでしょう?

決定まで時間がありません。町政懇談会が意見交換の場になります。

当事者のみなさん、ぜひご意見をお寄せください。

バスターミナル複合施設と皆楽公園・

今まさに「月形町地域拠点施設整備等審議会(委員は町民17人と町外識者3人で構成)」で検討中です。当初の予定が繰り下げられ最終結論は来年2月頃に。会議を2~3回増やし、優先的にバスターミナル複合施設を検討、その後に皆楽公園に取りかかるとのことです。10月までに会議3回と視察2回(道内4ヶ所)を終えました。私は毎回傍聴していますが、この審議会は若者や女性など新鮮な委員が多く、活発な意見交換が行われています。

どんな結論になるのか興味深く見ています。

一方で、9月一般質問で町長は「審議会の答申を踏まえて計画するので、現時点で費用やスケジュールについて申し上げる状況にない」と答弁しました。これはあまりにも無責任。町としての将来像や予算の見通しもなしに進めているのか? そもそも審議会に何を諮問したのか? 全て丸投げ? だとしたら「候補地」の町民生活は?

農業施設(新こめ工房と集出荷施設)の建設・

今年6月、唐突に町政の最優先事項として2つの農業施設建設が議会に持ち込まれ、9月に詳細な説明がありました。内容は…

● JA月形町からの強い要望。以下の2施設を令和2年度に建設する。

①新こめ工房: 既存施設は計画能力を上回る運転が続いている。老朽化による傷みも激しい。機能更新した施設が早急に必要。

②集出荷施設:ミニトマト生産が順調で選別機 を増設したいが施設は手狭。また作物ごとに集出 荷場が分散していて非効率的。1ヶ所に集約した い。

- 本来はJAが建設すべきものだが、国の有利 な補助金を得るには町が建設する必要がある。施 設の管理運営はJAが指定管理者となって行う(指 定管理料0円、町の支出なし)。
- 事業費(建設費他)=国の補助+過疎債+一般財源[表参照]。このうち一般財源部分は竣工年度にJAが町に一括支払い。過疎債部分は、毎年度の償還金額の3割をJAが負担(7割は交付税措置。12年償還)。町の実質的支出なし。(※国の財政状況によっては交付税が減額される。その場合の減額分は町の負担)
- JAの負担 分は農業者等か ら徴収。
- この事業は 「国の補助採択」 が条件で12月

頃に判明。今年度採択されなかった場合は来年度 以降にズレ込む。2施設のうち①が優先。

私は、あまりにも突然の高額な計画に困惑しました。「実質的な町の支出はない」と言っても起債と償還は町が窓口になるので、財政指標や他事業の起債に影響しますし、交付税額も絶対ではありません。また、最終的な返済は農業者が負うことになるので、昨今の厳しい農業情勢と農業者の人数や年齢をふまえると心配がつきません。ですが、この施設建設が農業振興として必要だと準備を進めていることは理解しました。今後は、①適切な施設規模か、②確実な償還計画か、を見極めたいと思います。



こめ工房。この南側町有地が農業施設の建設予定地。

| | 事業費総額 | 国の補助 | 過疎債 | 一般財源 |
|--------|-----------|----------|----------|--------|
| ①新こめ工房 | 5億5000万円 | 1億8000万円 | 3億4000万円 | 3000万円 |
| ②集出荷施設 | 9億1000万円 | 3億7000万円 | 5億4000万円 | 20 万円 |
| 合 計 | 14億6000万円 | 5億5000万円 | 8億8000万円 | 3020万円 |

月形町の財政状況・

9月の一般質問を行うにあたって過去 20 年程の 財政状況を調べました。月形町は平成 12 年頃(奥 山町政)は建設が盛んで積極的な投資が行われた 結果、借金(地方債残高)が約 60 億円にもなり、 返済額が増えた平成 15 年頃からは懐が厳しい状態 に(経常収支比率の上昇)。平成 16 年以降(桜庭 町政)は返済中心で投資がほとんど行われなくな り、借金は 30 億円台まで減少して町の懐に余裕が でてきたものの、様々な要因で町内業者の廃業が 相次ぎました。そして今、借金は増えていないも のの日常の負担(医療・介護・福祉関係、維持管理) は増えて懐が厳しくなり、人口減少での先細りも 心配です。

私は《町財政は計画とバランス》が重要だと考えています。緊縮して町の懐だけ余裕ができても町内が疲弊しては本末転倒ですし、逆に投資が目的になって過剰になれば後々の負担が増して町民が疲弊します。町民の暮らしに視点を置いて将来を見極め、必要な"こと"や"もの"を吟味して投資すること、計画性を持って負担の平準化を図ることが重要だと考えています。

9月一般質問で「今後10年間の大型事業計画と財政見通し」を上坂町長に問いましたが、具体的な考えや数字が示されなくてとても残念でした。

これから何をすべきか/宮下案・◆◆・◆◆・◆◆

今必要なのは計画的な事業展開です。町が最優先で農業施設を建設すると決めたなら、他の大型施設建設は数年先になるでしょう。検討中のバスターミナル複合施設は時間をかけて幅広い町民の意向を取り入れながら議論し、皆楽公園再整備計画と振興公社の経営改善はセットにせずに、振興公社は大胆な決断をする時期だと考えます。

今、老朽化が問題になっているのは給食センターと図書館です。ここに小中一貫校の特色づくりを合わせることを提案します。中学校敷地に小中一貫校と給食センターと図書館を複合します。図書館は学校図書室と町立図書館を一緒にして蔵書の質と量を確保。パソコン教室を隣接すれば情報図書

館としても活用できます。災害時には避難所機能だけでなく役場と近接する立地を活かして情報発信基地・炊き出し基地として活用できるでしょう。最も重要なのは小中一貫校の特色づくり。自然豊かで少人数の環境と特長を活かして、子ども達一人ひとりが自律心と生き抜く力を身につけられたら… この学校を中核とした複合施設は、子ども

達の未来と町民 の安心安全を広 げる投資になる と考えます。



第14回マニフェスト大賞優秀賞に選ばれました。

マニフェスト大賞とは、地方自治を支える議会・首長・市民等の優れた活動を全国から募集し表彰するもので、今年の応募総数は 2,619 件。その中の優秀賞(30 件)に私の「軽トラ活用ワンオペ選挙運動と費用公開で、町村議員立候補のハードルを下げる!」が選ばれました。11 月 8 日

(金) 六本木ヒルズでの《授賞式》と、前日の《プレゼン研究大会》に参加して、全国の優秀な取り組みと人物に刺激をもらってきます! 詳細は次号で♪

